

# 令和7年度 第3回総合教育会議

日 時：令和7年10月26日（日）午前10時  
場 所：さくらい幼稚園

1 開 会

2 あいさつ

3 協議事項

教育大綱の取組について

(1)魅力ある学校給食の実現

(2)教育支援体制の充実

【休憩：15分】

4 外国語教育の充実（小学生による実演）

5 閉会

令和7年度第3回

# 海老名市総合教育会議

令和7年10月26日（日）

@さくらい幼稚園

## 協議事項

### ◆教育大綱の取組について

- 1 魅力ある学校給食の実現
- 2 教育支援体制の充実

## 協議事項 1

# 魅力ある学校給食の実現

# 魅力ある学校給食の実現

就学支援課健康給食係

## 海老名市の学校給食について(概要)

海老名市食の創造館（供用開始：平成24年9月）  
施設用途：小学校給食調理（東柏ヶ谷小学校を除く12校）  
調理能力：最大8,000食/日  
給食実施数：7,270食（令和7年5月1日現在）



海老名市食の創造館別館（供用開始：令和6年4月）  
施設用途：中学校給食調理  
調理能力：最大4,500食/日  
給食実施数：3,530食（令和7年5月1日現在）



東柏ヶ谷小学校給食室（供用開始：平成20年1月）  
施設用途：小学校給食調理  
調理能力：最大700食/日  
給食実施数：430食（令和7年5月1日現在）



## 中学校完全給食の実施(令和6年4月)



完全給食とは・・・給食内容がパン又は米飯(これらに準ずる小麦粉食品、米加工食品その他の食品を含む。)、ミルク及びおかずである給食

# 献立の作成について

## ○ 栄養素の確保

学校給食摂取基準をもとに、様々な食材を取り入れ、児童生徒の成長に必要な栄養素の確保に努めています。

## ○ 安全・安心な給食

国産の食材を原則とし、添加物や遺伝子組み換え食品、食物アレルギーにも配慮した食材の選定を行っています。安全安心な給食が提供できるよう、衛生管理を確保できる献立を作成しています。

## ○ バリエーション豊かな献立

食文化や子どもたちの嗜好に配慮し、積極的に地場産物、旬の食材、行事食、おたのしみ給食などを取り入れています。

## ○ 価格

限られた予算の中で、給食の質を保てるよう努めています。

### 【学校給食摂取基準】

区分	エネルギー kcal	たんぱく質 ※1 g	脂質 ※2 g	ナトリウム (食塩相当量) g	カルシウム mg	鉄 mg	ビタミン				食物繊維 g	
							A μgRAE	B <sub>1</sub> mg	B <sub>2</sub> mg	C mg		
小学校	低学年	530	17.2~ 26.5	11.8~ 17.7	1.5未満	290	2	160	0.3	0.4	20	4以上
	中学年	650	21.1~ 32.5	14.4~ 21.7	2未満	350	3	200	0.4	0.4	25	4.5以上
	高学年	780	25.4~ 39.0	17.3~ 26.0	2未満	360	3.5	240	0.5	0.5	30	5以上
中学校 1年生 ~3年生	830	27.0~ 41.5	18.4~ 27.7	2.5未満	450	4.5	300	0.5	0.6	35	7以上	

※1 たんぱく質の値は、学校給食による摂取エネルギー全体の13~20%です。摂取基準のエネルギー量をもとに算出しています。

※2 脂質の値は、学校給食による摂取エネルギー全体の20~30%です。摂取基準のエネルギー量をもとに算出しています。

# 学校給食人気メニュー

## 【小学校給食】



ポークカレーライス



ジャージャー麺



鶏肉の竜田揚げ



スパゲティミートソース



フルーツミックス



夕焼けごはん

## 【中学校給食】



揚げパン



カレーライス・から揚げ

## 特色ある給食 おたのしみ給食／イベント給食 等

小学校



「オリンピック給食」

小学校



「大阪・関西万博給食」

小学校



「えびな(かながわ) 産品学校給食デー」

中学校



おたのしみ給食

中学校



特別メニュー

中学校



3年生卒業お祝い給食

## 特色ある給食 姉妹都市給食／献立コンテスト作品／行事食

姉妹都市給食

「鶏肉のザンギ、おくずがけ、ずんだもち」

小学校



中学校



献立コンテスト作品

小学校



「家系スタミナ丼」

中学校



「厚揚げの酢豚風炒め」

行事食

小学校



「クリスマス献立」

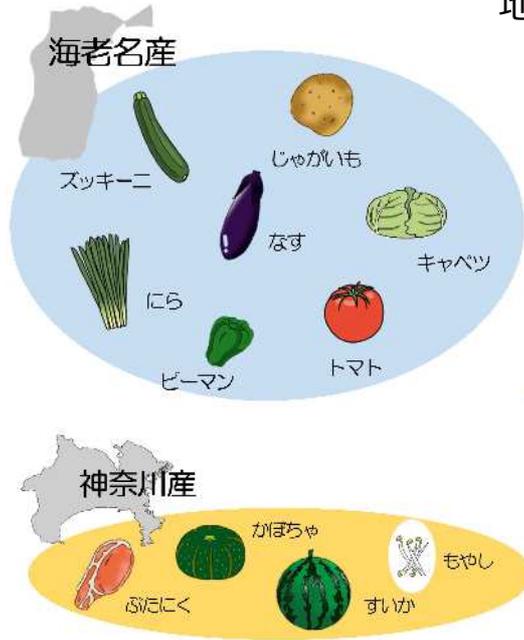
中学校



「ひな祭り献立」

# 特色ある給食 地場産物を使った献立

## 地場産物を取り入れた献立



小学校

海老名いっぱいポークカレーライス



海老名トマト入りミートスパゲティ



中学校

海老名いっぱいラタトゥイユ



海老名にら入り豚キムチチゲ



# 特色ある給食 季節の食材を使った献立

小学校



小学校



小学校



中学校



中学校



中学校



# 学校給食のPR(Instagram、動画、もぐもぐパクパク)



## 4 もぐもぐパクパク

2024年7月14日(日) 海老名市立海老名第二小学校 養育給食あり、16:42

この養育給食は、海老名市が「食育推進計画」に基づいて取り組んでいる取り組みです。食育の重要性を伝えるだけでなく、子どもたちが楽しく食事をとることができるように工夫されています。食育の大切さを伝えるだけでなく、子どもたちが楽しく食事をとることができるように工夫されています。

**海老名市の学校給食について紹介します！**

海老名市の学校給食は「食育推進計画」に基づいて取り組んでいる取り組みです。食育の重要性を伝えるだけでなく、子どもたちが楽しく食事をとることができるように工夫されています。食育の大切さを伝えるだけでなく、子どもたちが楽しく食事をとることができるように工夫されています。

### 【海老名市の学校給食について】

海老名市では、食育推進計画に基づいて、学校給食の充実を図っています。食育の重要性を伝えるだけでなく、子どもたちが楽しく食事をとることができるように工夫されています。食育の大切さを伝えるだけでなく、子どもたちが楽しく食事をとることができるように工夫されています。

### 【学校給食摂取基準】

学校給食の摂取基準は、厚生労働省が定める基準に基づいています。食育の重要性を伝えるだけでなく、子どもたちが楽しく食事をとることができるように工夫されています。食育の大切さを伝えるだけでなく、子どもたちが楽しく食事をとることができるように工夫されています。

## 海老名市食の創造館別館プロモーションビデオ

～中学校給食ができるまで～

令和6年11月20日(水)

海老名市公式YouTubeチャンネル  
公開開始

1. このQRコードをスクリーンショット  
2. 検索エンジン上で「海老名市 中学校給食」で検索  
3. URL「https://youtu.be/8P7woc0eX8?si=knjYkZ5Xy-NC1U3e」で検索

### 給食の日

食育の大切さを伝えるだけでなく、子どもたちが楽しく食事をとることができるように工夫されています。食育の大切さを伝えるだけでなく、子どもたちが楽しく食事をとることができるように工夫されています。

～中学校給食の推進「パクパク」の紹介～  
市内の中学校に給食を届けるための食育ロケットが、食育ロケットに搭載されています。

### 【学校給食費について】

学校給食費は、各学校で異なります。食育の重要性を伝えるだけでなく、子どもたちが楽しく食事をとることができるように工夫されています。食育の大切さを伝えるだけでなく、子どもたちが楽しく食事をとることができるように工夫されています。

学年	1学期	2学期	3学期	合計
1年生	1,200円	1,200円	1,200円	3,600円
2年生	1,200円	1,200円	1,200円	3,600円
3年生	1,200円	1,200円	1,200円	3,600円
4年生	1,200円	1,200円	1,200円	3,600円
5年生	1,200円	1,200円	1,200円	3,600円
6年生	1,200円	1,200円	1,200円	3,600円

# 食育活動(総合的な学習の時間)

【大谷小学校6年生】  
学校給食でのフードロス削減に向けて

【海西中学校1年生】  
今の自分に必要な給食の量を考えよう

## 学校給食でのフードロス削減に向けて

～大谷小学校6年生の総合的な学習～

回収、は入守給下、給食センター

食べ残しの量、調理時間を知り、自分たちでできることは何かを考えました

給食センターでの食べ残しの処理方法を学びました(給食センター)も見てもらいました

「どういった取組が効果的か?」「資料がもっとほしいこと以外にやることは?」

食品ロスの原因は? 市で取り組んでいること? 食育の大切さを伝えることができました

令和6年5月10日に「給食での食べ残しを減らそう」という取組みでこの学習が行われました



海西中学校 1学年  
令和7年7月17日(木) 1時間目

本日の  
流れ

- 中学校給食ができるまで
- 中学校給食の「量」
- 給食の食べ残し
- まとめ

# 食物アレルギー対応食(乳・鶏卵)

通常食

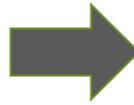


ロールパン

食物アレルギー対応食



米粉蒸しパン



# 学校給食献立コンテスト

令和7年度 海老名市

学校給食 献立コンテスト

内容

①絵画・イラスト部門 食べたい給食をイラストに描いてみよう！  
 定額献立、食べたい給食献立の一品(主菜・副菜・汁物・デザート)を自由  
 描いてね！

②レシピ部門 給食1品を再現しよう！  
 食べたい(食べたくない)給食献立の一品(主菜・副菜・汁物・デザ  
 ert)を作り、レシピ(材料・作り方)を定額献立記入し、作中の料理の写  
 真を添えてね！

応募方法

【海老名市立小中学校に通学している方】  
 市立の各給食所で、身体が大きいとして学校へ  
 提出してください。

【その他の方】  
 所定の応募用紙に、郵送又は直接、給食支  
 店に提出してください。

対象

- 市立小学生・市立小中学生
- 市立中学生・市立高等学校
- 市立公立の同級生

あとひとくち! 美味しい給食 食べようね。

フードロス削減活動、教育と連携を推進するから

お問い合わせ先: 海老名市立小中学校給食課 課長 藤田 隆夫 TEL: 0476-225-1911 (11月)

『令和6年度受賞作品』

【絵画・イラスト部門】



市長賞『すまいるはんぱーぐ』



教育長賞『海老名いっぱい給食』

【レシピ部門】



市長賞『クリームソースペンネ』



教育長賞『家系スタミナ丼』

# 学校給食費(公費負担)

物価高騰により、食材費が高騰し続けていることから、安全安心でおいしい給食の提供を維持するため、学校給食費を増額しています。

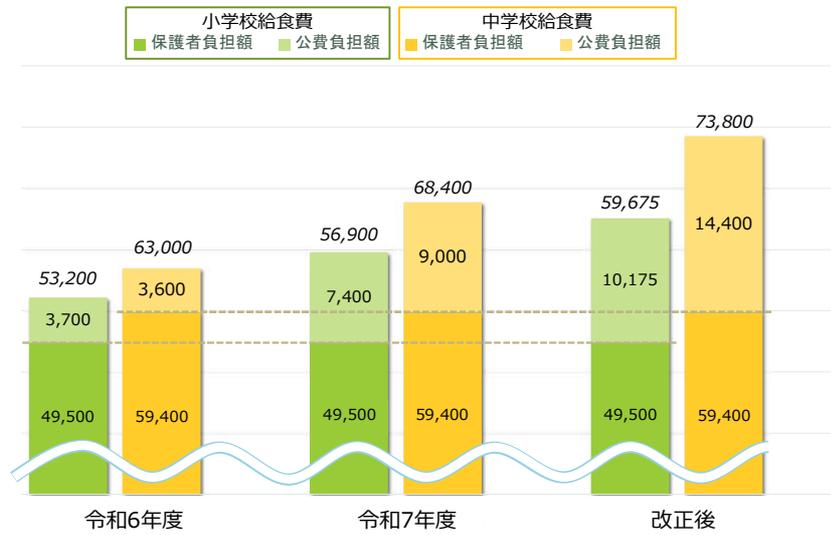
学校給食費の増額により、保護者への負担が増加しないよう、増額分については市で負担しています。

(令和7年度公費負担額合計 1億2,137万2千円)

## 【給食費の負担割合】

区分	保護者負担額 (年額)	公費負担額 (年額)	給食費 (年額)
小学校	49,500円	10,175円	59,675円
中学校	59,400円	14,400円	73,800円

## 給食費の推移



# 教育支援体制の充実



令和7年10月26日（日） 総合教育会議

## 教育支援体制の充実について(報告)



海老名市教育委員会

# 教育支援体制の充実について

「しあわせはくむ教育」のまち海老名



海老名市教育大綱5つの柱のうち、2つの柱に係る取組について報告します。

「えびなっこしあわせプラン」の推進  
⇒教育支援体制の充実

包摂性の高い教育的・社会的支援の推進  
⇒フルインクルーシブ教育の推進

## えびなっこしあわせプラン「教育支援体制の充実」

「えびなっこ支援シート」の活用及び支援の充実

- 学びの保障のために、「支援計画」を作成し、生活・学習支援につなげる

学校の包摂性を高めるための環境の整備と支援体制の充実

- 人員の確保と環境の整備
- 支援学校、教育関連機関、民間団体等との連携

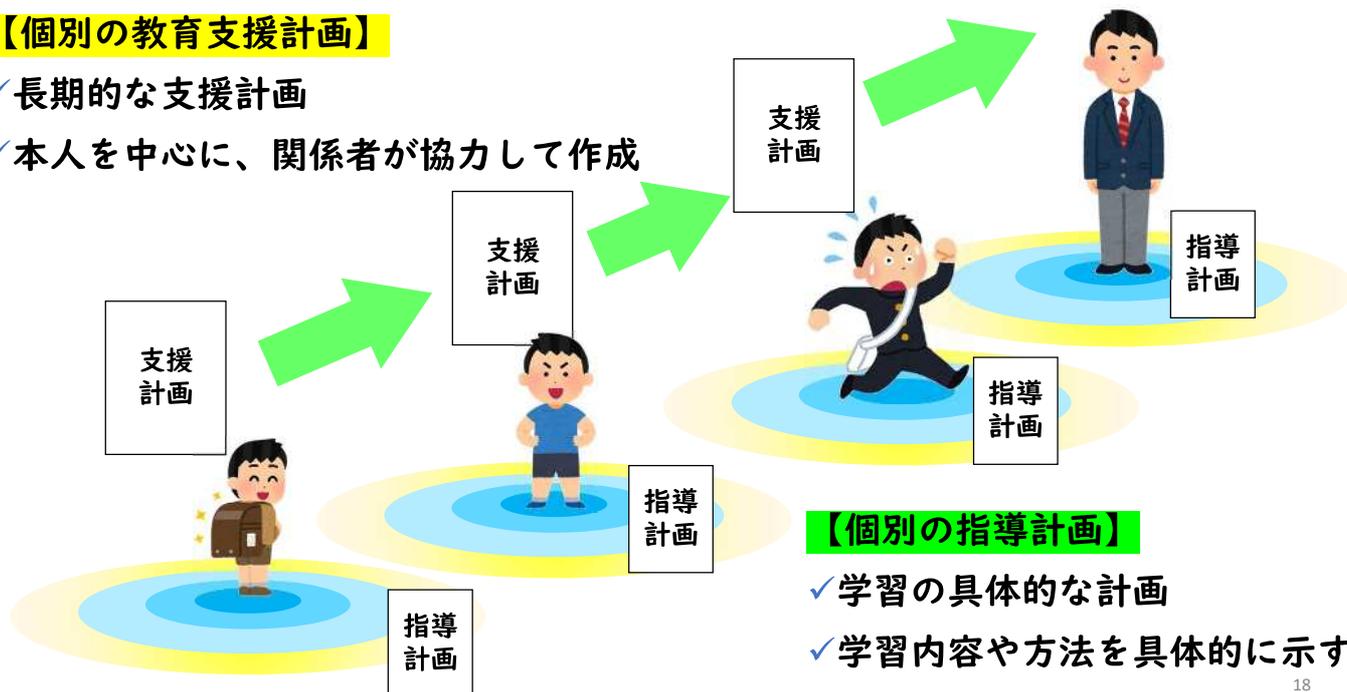
学校支援チームの再構築

教育支援体制づくり推進委員会

# 個別の教育支援計画と個別の指導計画

## 【個別の教育支援計画】

- ✓長期的な支援計画
- ✓本人を中心に、関係者が協力して作成



## 【個別の指導計画】

- ✓学習の具体的な計画
- ✓学習内容や方法を具体的に示す

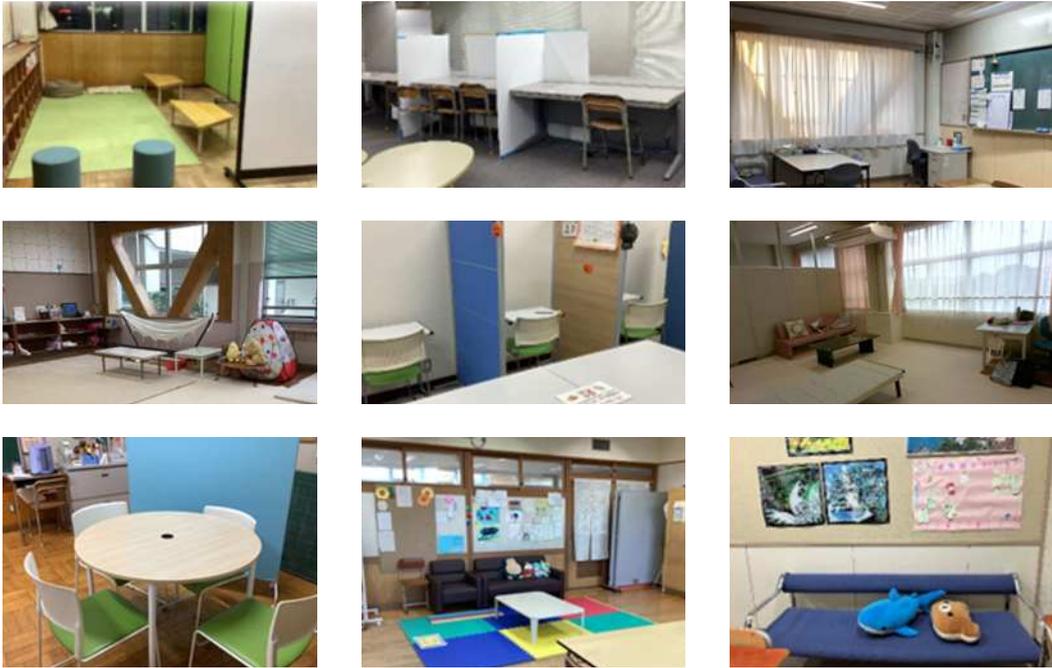
18

# えびなっこ支援シート【個別の教育支援計画】

【えびなっこ 支援シート】		海老名市	
学年	氏名	海老名市立	学校
年度	学期	学期	学期
期	日	日	日
課	本人		
名	保護者		
日進子ども会の氏	長期担任		
	短期担任		
日進子ども会の氏	長期担任		
	短期担任		
支援の手立て			
実施	担当		
	担当		
	担当		
最終作成日： 年 月 日			

- ✓令和6年から全校で実施
- ✓適切な支援を受けることができるようにするために作成する、海老名版、個別の教育支援計画
- ✓保護者、本人、担任・教育支援コーディネーター、等が協力し、支援方針や手立ての見直し、修正をしていく
- ✓毎年、次の担任等に引き継がれ、進学先（中学校・高等学校など）にも引き継ぐことができる

# スペシャルサポートルーム・心の教室



# スペシャルサポートルーム・心の教室

**令和心年賀 児童を心し支助せむラン**  
**校向作遊外利づくし信達書札会**  
**スペシャルサポートルーム・教室の環境をのぞく**

**サポートルーム・教室環境について**

本館が開設された当初、子ども達の通学の環境に配慮を怠りませんでした。現在は、特別支援学級の児童も通学しています。サポートルーム（以下SR）の設置があります。結果として、児童が安心して通学できる環境を整えています。また、通学のために人員の確保も怠りません。児童のニーズに合わせて環境づくりを進め、教育環境を整えています。

校内生活サポートも児童委員の協力がある。SR・特別支援学級の生活に配慮して活動する。児童・児童が安心して通学できる環境を整えています。また、通学のために人員の確保も怠りません。児童のニーズに合わせて環境づくりを進め、教育環境を整えています。

**児童に寄り添った環境づくり**

児童、児童が安心して通学できる環境を整えています。また、通学のために人員の確保も怠りません。児童のニーズに合わせて環境づくりを進め、教育環境を整えています。

児童のニーズに合わせて環境づくりを進め、教育環境を整えています。また、通学のために人員の確保も怠りません。児童のニーズに合わせて環境づくりを進め、教育環境を整えています。

児童のニーズに合わせて環境づくりを進め、教育環境を整えています。また、通学のために人員の確保も怠りません。児童のニーズに合わせて環境づくりを進め、教育環境を整えています。

**サポートルーム・教室環境について**

本館が開設された当初、子ども達の通学の環境に配慮を怠りませんでした。現在は、特別支援学級の児童も通学しています。サポートルーム（以下SR）の設置があります。結果として、児童が安心して通学できる環境を整えています。また、通学のために人員の確保も怠りません。児童のニーズに合わせて環境づくりを進め、教育環境を整えています。

**サポートルーム・教室環境について**

本館が開設された当初、子ども達の通学の環境に配慮を怠りませんでした。現在は、特別支援学級の児童も通学しています。サポートルーム（以下SR）の設置があります。結果として、児童が安心して通学できる環境を整えています。また、通学のために人員の確保も怠りません。児童のニーズに合わせて環境づくりを進め、教育環境を整えています。

# フルインクルーシブ教育の推進について

海老名市 フルインクルーシブ教育

5年間の取組計画（令和6年度～令和10年度）

令和7年3月

推進の柱	No	項目	令和6年度の取組	令和7年度以降の取組予定	令和10年度の姿
A みんなで実る	①	対話の場の開催	市民、教職員、障がい者団体、不登校支援団体との対話の場の実施	こども、保護者も含めた対話の場の継続	○対話の場や研修会の継続により、海老名市のこどもに係るすべての人のインクルージョンの理解が深まっています。
	②	研修会の開催	教職員研修会、市民学習会の実施 今後の研修会のあり方についての検討	教職員研修会、市民学習会の継続・充実	○市民会議が定期的に開催され、市全体としての取組が図られています。
	③	シンポジウムの開催	開催場所、スケジュール等の検討	市内・全県シンポジウムの実施	○シンポジウムの開催などにより、取組や成果を広く発信しています。
	④	市民会議の設置	会議設置に向けた計画の検討	市民との議論をさらに進めるために市民会議を設置	
	⑤	ホームページ開設とSNSでの発信	広報に係るホームページ開設等の検討	ホームページを開設し、対話の場や研修会の様子等を広く発信	
	⑥	教育支援コーディネーター（※1）を中心とした校内支援体制の充実（学校）	校内支援体制モデルの検討	校内支援体制モデルによる体制の整備とコーディネーター研修の充実	○校内支援体制と様々なリソースの充実により、学校をホームとした教育活動が進められています。
	⑦	学級をホームにする研究（学校）	学級をホームにしているための協議、検討	各学校での試行と取組の充実のための情報共有	
	⑧	個別の支援計画「えびなっこ」の作成	個別の支援計画「えびなっこ」の作成の実施、検討	個別の支援計画による支援の実施	○教育支援委員会では、こどもたちにとってよりよい支援のあり方についての協議が行われています。
	⑨	個別の支援計画「えびなっこ」の活用推進	個別の支援計画「えびなっこ」の活用推進の実施	個別の支援計画による支援の実施	○保護者や地域の方々、特別支援学校や関係機関との連携による教育活動が進められています。
	⑩	特別支援学校との連携	特別支援学校との連携の実施	特別支援学校との連携の実施	
C みんなで見直す	⑪	関係機関・民間事業者との連携	対話の場において、フルインクルーシブ教育についての意見交換を実施	関係機関・民間事業者との連携強化	
	⑫	学校教育活動での取組	各学校における包括的な学校づくりの実践	各学校における取組の継続と教育委員会としての支援の強化	○フルインクルーシブな視点による学校づくりが進み、授業や学習評価のあり方についての研究が進んでいます。
	⑬	学級をホームにする研究（制度）	学級のあり方についての協議	学級をホームにするための制度見直しについての協議	○学級をホームにするために、学級規模や学級などの制度の見直しに取り組んでいます。
	⑭	授業・学習評価のあり方	授業や学習評価のあり方についての協議	フルインクルーシブな視点による授業と学習評価のあり方についての研究	
D みんなで整える	⑮	教育支援コーディネーターの専任化	教育支援コーディネーターの役割と専任化についての協議	教育支援コーディネーターの専任化を進め、その活用についての研究	
	⑯	学級規模と人的配置の工夫改善	現状の課題についての協議・検討	制度の見直しと人的配置の工夫改善についての研究・実施	
	⑰	教室の環境整備	だれもが学びやすい教室環境についての協議	だれもが学びやすい教室の実現のための計画的な環境整備	○市内のリソースの充実に向けた、環境整備が進められています。
	⑱	学校の施設整備	学校のバリアフリー化に向けた計画の検討	学校のバリアフリー化に向けた計画的な学校施設整備の実施	○学校施設のリニアアライメントに向けて、計画的に整備が進められています。
	⑲	通学・移動等の学校生活支援	通学・移動等の学校生活支援に係る支援制度の検討・実施		

## ⑦学級をホームにする研究

## 学級をホームにする



様々なリソースの充実

学級のあり方について再考

# フルインクルーシブ教育の推進について

海老名市 フルインクルーシブ教育

5年間の取組計画（令和6年度～令和10年度）

令和7年3月

推進の柱	No	項目	令和6年度の取組	令和7年度以降の取組予定	令和10年度の姿
A みんなでめざす ○インクルージョンへの理解・啓蒙を促進しインクルーシブシティとしての海老名市をめざします。 ○教職員・保護者・市民の研修を充実させます。 ○インクルージョンについて市民とともに考える場を設置します。 ○多くの方に取組を積極的に発信します。	①	対話の場の開催	市立、教職員、障がい者団体、不登校支援団体との対話の場の実施	こども、保護者も含めた対話の場の継続	○対話の場や研修会の継続により、海老名市のこどもに係るすべての人のインクルージョンの理解が深まっています。
	②	研修会の開催	教職員研修会、市民学習会の実施 今後の研修会のあり方についての検討	教職員研修会、市民学習会の継続・充実	
	③	シンポジウムの開催	開催規模、スケジュール等の検討	県内・全国シンポジウムの実施	○市民会議が定期的に開催され、市全体としての取組が図られています。
	④	市民会議の設置	会議設置に向けた計画の検討	市民との議論をさらに進めるために市民会議も設置	○シンポジウムの開催などにより、取組や成果を広く発信しています。
	⑤	ホームページ開設とSNSでの発信	広報に係るホームページ開設等の検討	ホームページを開設し、対話の場や研修会の様子等を広く発信	
B みんなで支える ○個別の支援計画をもとに、校内支援体制の充実を図っていきます。 ○校内の様々なリソース（資源）を充実させ、ひとりひとりの学びを保障します。 ○こどもたちの支援のあり方について、研究していきます。 ○保護者や地域の方々、支援学校や関係機関と連携して、こどもたちを支えています。	⑥	教育支援コーディネーター（※1）を中心とした校内支援体制の充実（学校）	校内支援体制モデルの検討	校内支援体制モデルによる体制の整備とコーディネーター研修の実施	○校内支援体制と様々なリソースの充実により、学級をホームとした教育活動が進められています。
	⑦	学級をホームとする研究（学校）	学級をホームにしているための協議、検討	各学校での試行的取組の充実のための情報共有	
	⑧	個別の支援計画（えびな）支援学校との連携	作成の実施、検証	個別の支援計画による支援の実施	○教育支援委員会では、こどもたちにとってよりよい支援のあり方についての協議が行われています。
	⑨	スペシャルサポートチーム活用推進	活用推進の協議、検証	教室環境や支援体制の充実による活用の推進	
	⑩	就学相談のあり方	就学相談のあり方、時期の協議、検証	ひとりひとりのこどもに合わせた支援について話し合う就学相談・教育支援委員会のあり方の検討	○保護者や地域の方々、特別支援学校や関係機関との連携による教育活動が進められています。
	⑪	特別支援学級			
	⑫	支援ボランティア			
	⑬	関係機関・団体との連携			
	⑭	学校教育活動			
	⑮	学級をホームとする研究（学校）			
C みんなで見直す ○フルインクルーシブな視点による学校づくりを進めるとともに、授業や学習評価のあり方についても見直しを図ります。 ○学級をホームにするために、学級環境や学級などの制度の見直しを図ります。	⑯	学級をホームとする研究（学校）			
	⑰	授業・学習			
	⑱	教育支援コーディネーターの専任化	教育支援コーディネーターの役割と専任化についての協議	教育支援コーディネーターの専任化を定め、その活用についての研究	
D みんなで整える ○すべてのこどもが地域の学校で学べる生活・学習環境を整えます。	⑲	教室の環境整備	だれもが学びやすい教室環境についての協議	だれもが学びやすい教室の実現のための計画的な環境整備	○校内のリソースの充実に向けた、環境整備が進められています。
	⑳	学校の施設整備	学校のリアフリー化に向けた検討	学校のリアフリー化に向けた計画的な学校施設整備の実施	○学校施設のリアフリー化に向けて、計画的に整備が進められています。
	㉑	通学・移動等の学校生活支援	通学・移動等の支援についての協議の検討	通学・移動等の学校生活支援に係る支援制度の検討・実施	
	㉒	通学・移動等の学校生活支援			

## ⑥教育支援コーディネーターを中心とした校内支援体制の充実（学校）

## 対話の場（中間報告）

### 保護者との対話の場

10月26日現在、10校終了  
 (杉久保小、今泉小、海西中、大谷中、今泉中、柏ケ谷中、社家小、柏ケ谷小、海老名中、中新田小)



### フルインクルーシブ教育全校朝会

10月26日現在、9校終了  
 (今泉中、柏ケ谷中、海老名小、東柏ケ谷小、今泉中、杉本小、社家小、門沢橋小、柏ケ谷小)



### えびな支援学校との対話の場

教職員対象 7月25日  
 保護者対象 10月7日



# 令和7年度 インクルーシブ教育事業に係る予算

事業費総額	<b>1億9,337万5千円</b> ＜インクルーシブ教育推進事業費＞	
内 訳		
費 目	予算額	主な用途
人件費	1億7,931万円	会計年度任用職員の報酬 ★補助指導員 介助員 看護介助員 日本語指導学級講師 言語聴覚士 スペシャルサポートルーム支援員
消耗品費 備品購入費	876万1千円	環境整備に係る物品購入 ★デジタル時計 ジョイントマット パーテーション 座卓 通級指導教室用の物品など
その他	530万4千円	通訳翻訳等の謝礼 旅費 健康診断 使用料 補助金など



## 対話の場



市民対象「対話の場」

【対面開催】

日時：12月6日（土）  
10:00～12:00

場所：海老名市役所

【メタバース開催】

期日：10月28日（火）～  
11月28日（金）

# 海老名市 外国語教育の充実

Foreign language education in Ebina City



## これまでの海老名市の外国語教育

第1期  
平成29年3月  
(平成29～32年度)



第2期  
令和元年10月  
(令和2～4年度)



第3期  
令和4年7月  
(令和5～7年度)

**第3期海老名市外国語教育実施計画**

海老名市教育委員会

**4 これからの海老名市外国語教育について**

【1】多言語対応  
本市の外国人労働者や観光客の増加に伴って、外国人とのコミュニケーションが求められる。外国人労働者の増加に伴って、外国人労働者の生活支援や観光客の生活支援が求められる。

【育者者外国語教育がもたらす児童生徒の授業の質】  
外国でおぼろる振り、世界の人々とのコミュニケーションを促すことができる「えびなっ子」

【身に付ける資質・能力】  
様々な人と自ら関わろうとする態度と豊かなコミュニケーション力  
(グローバル社会・世界と関わり、多文化共生を促す)

英語の知識及び技能  
(グローバル社会・世界と関わり、多文化共生を促す)

英語で、理解し、表現する力  
(グローバル社会・世界と関わり、多文化共生を促す)

えびなっ子活動に対する価値観・意志

【2】多言語対応  
本市の外国人労働者や観光客の増加に伴って、外国人とのコミュニケーションが求められる。外国人労働者の増加に伴って、外国人労働者の生活支援や観光客の生活支援が求められる。

【育者者外国語教育がもたらす児童生徒の授業の質】  
外国でおぼろる振り、世界の人々とのコミュニケーションを促すことができる「えびなっ子」

【身に付ける資質・能力】  
様々な人と自ら関わろうとする態度と豊かなコミュニケーション力  
(グローバル社会・世界と関わり、多文化共生を促す)

英語の知識及び技能  
(グローバル社会・世界と関わり、多文化共生を促す)

英語で、理解し、表現する力  
(グローバル社会・世界と関わり、多文化共生を促す)

えびなっ子活動に対する価値観・意志

【3】多言語対応  
本市の外国人労働者や観光客の増加に伴って、外国人とのコミュニケーションが求められる。外国人労働者の増加に伴って、外国人労働者の生活支援や観光客の生活支援が求められる。

【育者者外国語教育がもたらす児童生徒の授業の質】  
外国でおぼろる振り、世界の人々とのコミュニケーションを促すことができる「えびなっ子」

【身に付ける資質・能力】  
様々な人と自ら関わろうとする態度と豊かなコミュニケーション力  
(グローバル社会・世界と関わり、多文化共生を促す)

英語の知識及び技能  
(グローバル社会・世界と関わり、多文化共生を促す)

英語で、理解し、表現する力  
(グローバル社会・世界と関わり、多文化共生を促す)

えびなっ子活動に対する価値観・意志

**英語でわがまちを語り、世界の人々とのコミュニケーションを楽しむことができる「えびなっ子」(1期・2期)**

# これまでの海老名市の外国語教育

第1期  
平成29年3月  
(平成29～32年度)



第2期  
令和元年10月  
(令和2～4年度)

(令和5～7年度)

第3期海老名市外国語教育実施計画




**現在、「第4期外国語教育実施計画」を作成中  
令和7年11月完成予定**



**外国語で語り合い、世界の人々とのコミュニケーションを楽しむことができる「えびなっこ」(第3期)**

海老名市教育委員会

# 外国語教育の授業時間数の変遷

○平成19年度

	小学校 一般校		小学校 研究推進校		中学校
	1～4学年	5・6学年	1～4学年	5・6学年	1～3年
年間授業時数	5時間	10時間	10時間	20時間	16時間程度
派遣述べ日数	346日		143日		373日
派遣ELT人数	ELT 5名 【内訳】 小学校のみ派遣1名、中学校のみ派遣1名、小・中学校派遣3名				

# 外国語教育の授業時間数の変遷

○平成20年度～平成27年度

	小学校 一般校		小学校 研究推進校		派遣日数	派遣ELT数
	1～4学年	5・6学年	1～4学年	5・6学年		
平成20年度	5時間	20時間	10時間	20～35時間	680日	4人
平成21年度	5時間	20時間	10時間	35時間	863日	6人
平成22年度	5時間	35時間	10時間	35時間	885日	6人
平成23年度	【新学習指導要領実施】平成23年4月～ ≪小学校全13校≫ 1～4年生：10時間前後      5～6年生：35時間				1086日	6人
平成24年度					1104日	6人
平成25年度					1104日	6人
平成26年度					1122日	6人
平成27年度					1080日	6人

# 現在の外国語教育の授業時間数

○平成28年度～

学年	授業時間数
小学校1・2年生	年間10時間程度
小学校3・4年生	年間35時間(週に1時間)
小学校5・6年生	年間70時間(週に2時間)
中学生	年間140時間(週に4時間)

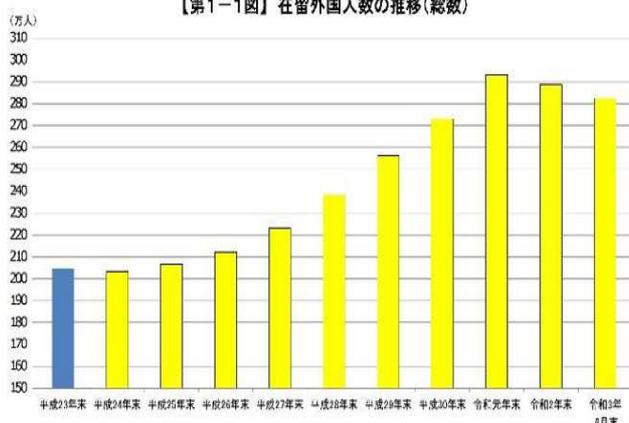
# ALT(外国語指導助手)について

年度	小学校	中学校
平成14年度～	1名	
平成16年度～	2名	
平成19年度～	5名	
平成20年度	4名	3名
平成21年度～29年度	6名	3名
平成29年度～30年度	7名	2名
平成31年度～	10名	3名

7

## <今の日本の現状・・・>

【第1-1図】在留外国人数の推移(総数)



出典: 出入国在留管理庁ホームページより

11,978人(小:8,908人、中:3,070人)



出典: 神奈川県公立小中学校における外国につながるの児童生徒数調査

- 日本に住む・働く外国人の数は年々増加。
- 公立学校に在籍する外国につながるの児童生徒数も年々増加。
- 海老名市の増加率は、愛川町・箱根町に続いて県内3位。
- ◆身近なところで外国人のいる生活、外国人と共に生活することは当たり前(共生社会)となりつつある。

# 学習指導要領より

○グローバル化が急速に進展する中で、**外国語によるコミュニケーション能力は**、これまでのように一部の業種や職種だけでなく、**生涯にわたる様々な場面で必要とされる。**

○指導計画を作成し、授業を実施するに当たっては、**ネイティブ・スピーカー**や英語が堪能な地域人材などの協力を得る等、**指導体制の充実を図るとともに、指導方法の工夫を行うこと。**

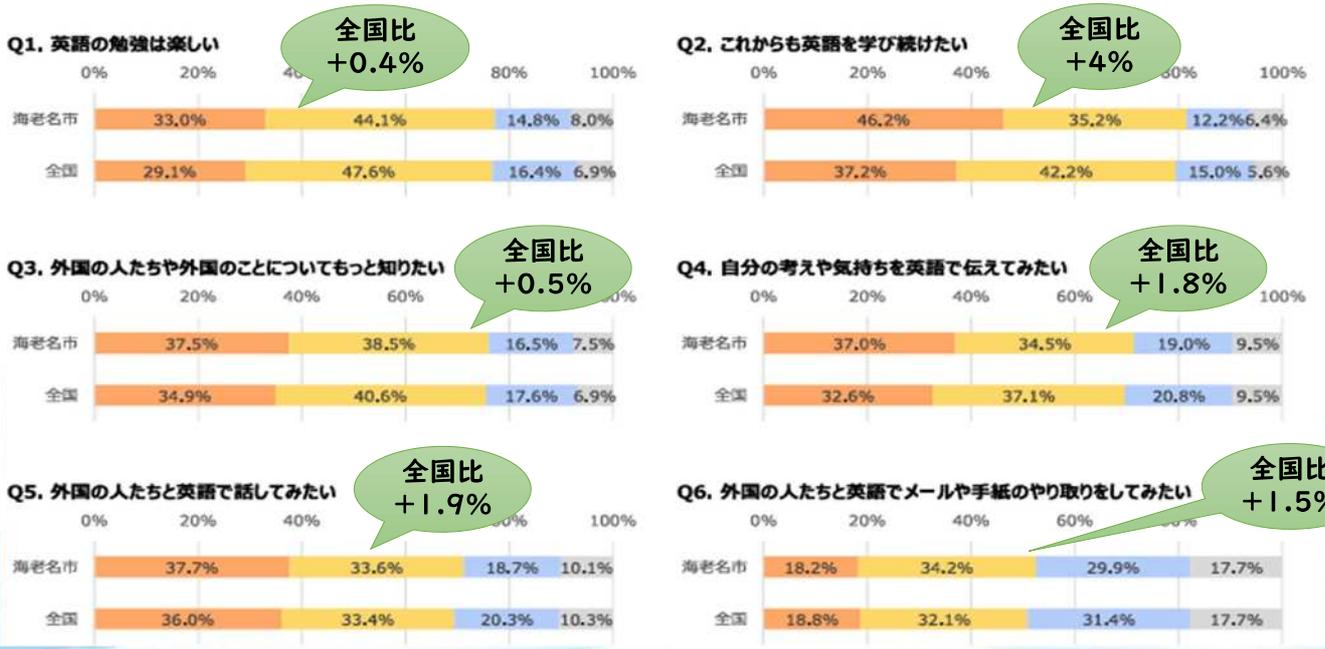


小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 外国語活動・外国語編より

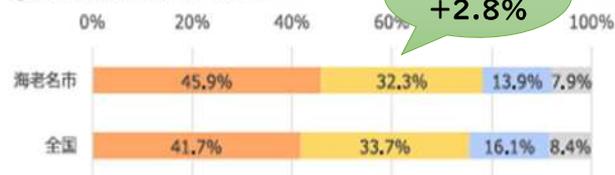
## 外国語教育アンケートの結果より

■対象者：市内 小学生6年生 児童

■ とてもそう思う ■ どちらかと言えばそう思う ■ どちらかと言えばそう思わない ■ ほとんどそう思わない



Q7. 外国の人と友だちになりたい



全国比  
+2.8%

Q8. 外国のテレビ番組や映画を英語のままで見てみたい



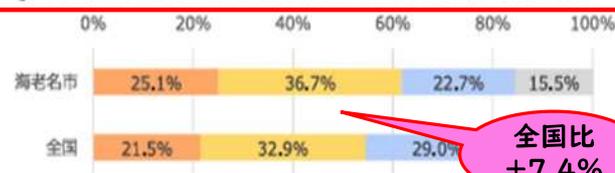
全国比  
+4.3%

Q9. 英語で書かれたインターネットのサイトや記事、ブログを読みたい



全国比  
+3.2%

Q10. 将来、英語を使って仕事をしたり、外国の人たちと一緒に仕事をしたい



全国比  
+7.4%

全ての項目において、全国を上回る結果が出た。

特に、「将来、英語を使って仕事をしたり、外国の人たちと一緒に仕事をしたい」という質問に、肯定的回答をした児童は全国比+7.4。

外国につながる子どもたちの存在が身近になったことや、外国語への関心の高まり・技能や自信の高まりが肯定的な結果につながっていると考えられる。

## 中学校英語

令和5年度「全国学力・学習状況調査」の結果より

「聞く」「読む」「話す」「書く」のすべての領域において、全国平均を上回っている。

	海老名市	全国	全国との比較
全体	49.9	45.6	+4.3
聞くこと	63.3	58.4	+4.9
読むこと	53.9	51.2	+2.7
話すこと【やり取り】	20.1	14.5	+5.6
話すこと【発表】	7.8	4.2	+3.6
書くこと	28.9	23.4	+5.5

## EnglishDay(イングリッシュデー)

1つの学校に市内のALT全員を同日に派遣し、1日を通じて英語に親しむ日を設ける。



授業で学んだことを生かしたコミュニケーション活動やゲームなどを通して、主体的に英語を使ってコミュニケーションを楽しもうとする意欲や態度を育てる。



13

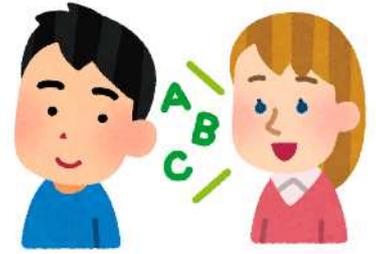
## 令和6年度 海外とのオンライン交流

### 柏ヶ谷中学校・有馬中学校での先行実施

- 日 時 令和7年3月(各校2日間)
- 対 象 中学2年生
- 交流先 台湾の中学校2校
- 協 力 インタラック関東南 横浜支店
- 内容(授業の流れ)



- ☆ウォームアップ(ネームタグ作成・よく使うフレーズの確認等)(約20分)
- ☆meetをつなぎ、ALTが代表して相手先の教員と挨拶、簡単なスケジュールについて確認。(約5分)
- グリーティング(約2分)
- 代表生徒による学校(国)紹介【台湾→日本】(約10分)
- グループごとに特別教室等に分かれ、グループトークの実施(約20分)
  - ・1学級6グループ。
  - ・事前に作成した自己紹介シートをもとに一人ずつ自己紹介し、質問をし合う。
- 教室に戻って、まとめ・記念撮影(約10分)
- 振り返り(約15分)



# 海老名小学校 5年生による実演



15

外国語を「学びたい」「話せるようになりたい」  
という えびなっこを応援したい！

これからも海老名市は  
外国語教育を推進していきます

世界へ羽ばたけ！えびなっこ！

